

国際理解教育講師等派遣事業

ワールドキャラバン

平成29年度報告



主催 茨城県国際理解教育推進協議会

公益財団法人茨城県国際交流協会

茨城県教育庁学校教育部義務教育課

茨城県教育庁学校教育部高校教育課

茨城県教育庁学校教育部特別支援教育課

茨城県教育庁総務企画部生涯学習課

茨 城 県 国 際 課

(独) 国際協力機構筑波国際センター

茨城地域留学生交流推進協議会

青年海外協力隊茨城県OV会



ワールドキャラバンとは

県内の学校や、生涯学習関係機関、並びに国際交流団体等が国際理解の促進を目的とした事業を行う際に、外国人等講師や参加型学習のためのファシリテーターを派遣する制度です。参加者に、外国人と直接対話する機会や、開発教育のワークショップ等を体験する機会を提供することによって、国際理解を深め、国際社会で活躍できる人材の育成を図ることを目的としています。

小学校事例

石岡市立瓦会小学校

学校長：大倉 宏一
実施日時：平成29年10月12日（木）13：45～14：30
実施場所：体育館
対象：1～6年生60名
講師：田中 アルバさん／ニカラグア／各国事情紹介講師

【活動内容】

- ・ニカラグアの紹介（自然環境、生活や文化）、実物の貨幣など
- ・ニカラグアに関する〇×クイズ、民族衣装試着
- ・ニカラグアのダンス、遊びをしたりして楽しんだ。

【児童の感想】

- ・ニカラグアの様々な文化を知ることができました。また、子どもたちが楽しく踊っている様子がほほえましく、とてもよかったです。（保護者）
- ・外国の方と接することが少ないので、とてもよい機会だと思いました。
- ・ダンスやゲームやクイズができたのでとても楽しかった。ニカラグアに行ってみたくなった。（児童）



【先生の感想】

最初のニカラグアに関する話から〇×クイズになると、雰囲気が変わり子どもたちの生き生きとした表情が見られるようになった。「民族衣装を着たい人いるかな？」と講師が言うと、たくさん子どもたちが前に出てきて行列を作った。最初に民族衣装を着た児童がポーズをとると大きな歓声があがった。次に、ニカラグアのダンスの曲がかかりその曲に合わせて講師が踊り始めると、子どもたちも自然に手をつなぎ講師を真似して踊り始めた。全児童が笑顔で踊った。最後に、講師が持参してくれたもので遊んだ。日本のお手玉遊びのようなものでグループに分かれて遊んだ。ここで終了の時間が来てしまった。あっという間の45分間であった。授業後に児童にアンケートを実施したが、全児童が「楽しかった。」に〇を付けていた。特に、うれしかったのは、不登校気味の児童が楽しくみんなと一緒にダンスをしたり、ゲームをしたりしていたことだ。その児童はアンケートでも「楽しかった」に〇を付けていた。（昨年度は「楽しくなかった」に〇を付けていた。）



今年度は、コーディネーターが事前に来校して細かな打合せをすることができた。また、「授業内容については任せてください」とおっしゃってくれて心強く思った。当日もこの言葉通り、大変素晴らしい授業をして頂いた。ありがとうございました。

日立市立大沼小学校

学校長：大内 浩一
実施日時：平成29年11月9日（木）13：40～14：40
実施場所：教室
対象：小学6年生 86名
講師：住谷 リディアさん／ポーランド／各国事情紹介講師
トゥルスンベコワ アルトナイさん／キルギス／留学生親善大使
ニュー ティ フン グエンさん／ベトナム／留学生親善大使

【活動内容】

- ・交流会：プレゼンテーションによる自国紹介や歌などを披露していただきました。また、じゃんけんゲームをして、楽しく一緒に遊ぶこともできました。

【児童の感想】

- ・ギターをひいているリディアさんの姿がとてもカッコ良かったです。クラブゲームも楽しかったです。ポーランドの民族衣装の柄や刺繍がとても魅力的でした。
- ・キルギスには自然がいっぱいでとても素敵だと思いました。キルギスは日本よりも小さな国だと知って驚きました。今日のお話を聞いてキルギスに行ってみたいと思いました。
- ・ベトナムはバイクの交通量が多いことを知って驚きました。ベトナムの学校のことや食べ物、スポーツなどいろいろなことを知ることができてベトナムに興味をもてました。いつかはベトナムやその他のいろいろな国にも行ってみたいくなりました。



【先生の感想】

講師の方々が用意してくださったプレゼンテーションがとても分かりやすく、児童も興味深く聞いていました。また、じゃんけんゲームをしたり、歌を披露していただいたりと、楽しい時間を過ごすことができました。児童はこのワールドキャラバンを通して、世界には様々な国があり、文化も多種多様であることを実感していました。また、いろいろな国に行ってみたいと話す児童もたくさんいました。今後はこのワールドキャラバンを入り口にして、それぞれの児童がそれぞれに興味をもった国について調べ、日本と比較しながらプレゼンテーションを作成して発表する学習に取り組んでいきます。このワールドキャラバンでの出会いがよい刺激を与えてくれることと確信しております。貴重な機会を、ありがとうございました。



中学校事例

北茨城市立磯原中学校

学 校 長：櫻村 宣行
実施日時：平成29年11月24日（金）12：20～15：30
実施場所：教室、体育館
対 象：中学1年生106名
講 師：ソウ シュウヘイさん／中国／留学生親善大使
住谷 リディアさん／ポーランド／各国事情紹介講師
埴 シェリーさん／フィリピン／各国事情紹介講師

【活動内容】

- ・給食を食べながらの交流
- ・全体会（ワールドキャラバンの事業説明、講師紹介）
- ・分科会（講師による各国の紹介、説明、質疑応答）2回実施

【生徒の感想】

- ・フィリピンの地方の特徴が分かった。質問混じりで楽しかった。
- ・民族衣装がかわいいと思いました。
- ・お札（紙幣）の顔が、大統領が交代すると変わると聞いて驚いた。
- ・ポーランドの行事は11月～1月にかけて多くあって、コスプレをすることがすごいなあと思いました。
- ・リディアさんの歌がすごく上手でした。もう一度聴きたい。
- ・漢字の意味や言い方がおもしろいと思いました。
- ・民族衣装に興味を持った。唐辛子がお守りなんておもしろい。
- ・いろんな民族が住んでいて、言葉が通じないのが大変だと思った。
- ・お正月に、1時間も花火と爆竹が鳴っているのを想像すると、すごいただろうなと思った。
- ・中国と日本で使う漢字の意味が違うことが、とても驚いたしおもしろかった。
- ・このような機会があれば、もっといろいろな国の人の話が聞きたい。



【先生の感想】

- ・講師の方々が熱心に講演して下さったので、異文化理解のみならず、その国の伝統や文化を多面的に感じ取ることができた。
- ・動画やいろいろな小物を持参して、効果的に利用しながら講演していただいたので、その国の歴史や言語、民族、文化などについて理解すると共に、楽しく交流することができた。
- ・普段の生活では関わることのできない国の方々と交流することができ、初めは緊張感が漂っていたが、徐々に緊張もとれ、楽しく話を聞いたり質問をしたりしていた。
- ・もっと世界を知りたいという感想もあり、生徒たちが世界へ目を向ける良い機会になったと思われる。



水戸英宏中学校

学 校 長：田中 久美子
実施日時：平成29年12月18日（月）13：30～15：30
実施場所：教室
対 象：中学1、2年生
講 師：ノウルズィー タイエバ さん／イラン／留学生親善大使
ゴランラン さん／中国（内モンゴル）／留学生親善大使

【活動内容】

- ・母国語のあいさつ・自己紹介
- ・イラン、中国の紹介（学校、遊び、民族衣装、踊り、食文化など）
※生徒を2分割し、時間交代制で2人の先生のお話を聞いた
- ・閉会行事として、生徒からのお礼のメッセージと講師の方々からメッセージをいただいた。

【生徒の感想】

- ・昨年とは違う国について知れて良かったです。今まで馴染みの薄かったイランや中国に関して新しい発見もありましたが、日本と似ているところも数多くありました。いつか行ってみたいと思いました。（中2生徒）
- ・講師の先生方は日本語でのお話がとても上手でした。私も先生たちのように、自分の国（日本）について話せる人になりたいです。そのためにまずは日本のことをよく知る必要があると感じました。（中1生徒）



【先生の感想】

- ・当初抱いていた国（イラン・中国）に対するイメージが変わったという生徒も多く、外国を知る一つのよいきっかけとなった。
- ・打ち合わせの段階よりコーディネーターの方が親身に相談に乗ってくれて助かった。当日の発表は写真や映像など、生徒を飽きさせない工夫をしてくださり、あっという間の2時間だった。事前に生徒から質問したい内容を集め、それに伴う発表内容を考えてくださり、生徒も集中して聴いていた。ほとんどの時間が座って話を聴く講義型の活動だったので、生徒が積極的に質問したり、参加できる活動があればより良かったかもしれない。
- ・生徒からは「あまり知らない国であったが、講義を聴いて身近に感じた」や「もっと他の国の話も聴いてみたい」などの感想が数多く寄せられたことは良かったと感じる。（担当教諭）



高等学校事例

愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校

学校長：倉持 正男

実施日時：平成29年12月18日（月）9：30～12：00

実施場所：教室

対象：1年生40名

講師：グロリア チェン さん/カナダ/県国際交流員
ロドリゲス ゴメス ファン バプロさん/メキシコ/留学生親善大使
オー ヒョンヨン さん/韓国/留学生親善大使
ジョ カビン さん/中国（香港）/留学生親善大使

【活動内容】

・各講師の方による出身国・地域について文化等の紹介
・グループに分かれての活動（講師の方の出身国・地域の言葉での各自自己紹介、「豊かな生活とは何か」についてのディスカッション）

【生徒の感想】

- ・いろいろな国についての話が聞けて面白かったです。
- ・メキシコでは子供のころから国旗の書き方を練習する話に驚きました。
- ・講師の方々の日本語が上手で驚きました。



【先生の感想】

・各講師の方による出身国・地域についての文化等の紹介では、韓国の高校生が夜11時まで学校で勉強していることや香港という名前の由来など、学校の地理などの授業では聞く機会が少ない話を聞くことができ、外国人講師の方に実際に来ていただき話していただく意義を感じることができました。

・異なる出身国・地域の講師の方を4名派遣していただき、生徒たちにとって多様な文化を知ったりいろいろな人の考え方に触れることができたりして、良い機会となったと思います。一方、グループ活動の中で話し合うテーマを考えるのが難しかったです。夏に開催された国際理解教育研修会でお聞きしたお話や、その際販売されていた教材などを今回は参考にさせていただきましたが、次年度以降はさらなる検討・改善が必要であると気づかされました。



特別支援学校事例

茨城県立下妻特別支援学校

学校長：落合 幸雄

実施日時：平成29年11月16日（木）10：15～14：30

実施場所：体育館

対象：中学部1～3年、高等部1～3年38名

講師：グロリア チェンさん/カナダ/県国際交流員
段 美侑（ドゥアン メイトン）さん/中国/留学生親善大使

【活動内容】

- 1 講師の故郷についての紹介・体験・質疑応答
 - 2 本校生徒よる日本の文化紹介・体験
- ※上記活動以外に給食を一緒に食べながらコミュニケーション

【生徒の感想】

- ・中国に多様な言語や民族が存在することを知り、一つの国の中でもきつとたくさんの帰属意識があるのだろうなと感じました。漢服やチャイナドレスを目の前で見るという貴重な体験もでき、カナダの国名の由来や国旗の意味を教わって驚きや発見がたくさんありました。本やインターネットでも外国のことを学べるけれど、講師の方に質問したり、直接交流したりできることがワールドキャラバンの魅力だと思います。
- ・中国はたくさんの方言や民族があり、カナダは白人だけでなく黒人やアジア人などたくさんの人が一緒に生活しているなど、国によってそれぞれの特色があって驚きました。
- ・中国ではほとんどが漢民族だが、少数民族もたくさんありモンゴル族など他の国の民族の部族もいることに驚きました。
- ・カナダの国の名前は勘違いから生まれたことに驚きました。また、カナダの国旗は太平洋と大西洋に挟まれていることを意味していることをはじめて知りました。



【先生の感想】

生徒にとって外国の文化に触れるとてもよい機会となりました。写真や動画などを使用したスライドで、わかりやすく楽しい説明を聞きながら、最後まで生徒たちが意欲的に活動に参加することができました。また、実物を間近で見たり、ゲームや塗り絵などの活動を一緒に体験したりすることで、文化の違いを体感するとても良い機会となりました。

給食や休憩時間にも生徒たちに積極的に話しかけてくださり、生徒にも自然と笑顔が見られました。また、生徒が発表した茨城の魅力についてのプレゼンテーションも真剣に聞いてくださったり、法被を着てソーラン節を一緒に踊ってくれたり、様々な活動を通して生徒が積極的に講師の方と楽しそうにコミュニケーションをとることができ、とても良かったです。



今年は事前打合せで生徒の実態を伝えると、スライドより活動を多めに取り入れてくれるなど生徒の実態に合わせた対応をしていただき大変感謝しています。全体を通して、生徒の笑顔がたくさん見られ、充実した交流となりました。ありがとうございました。

生涯学習事例

メサフレンドシップ

代 表：川瀬 由紀子
実施日時：平成29年10月17日（火）10：30～14：00
実施場所：（公財）茨城県国際交流協会 研修室
対 象：メサフレンドシップ会員17名
講 師：アスティン ニラグドさん、ジェニー オティさん、
ケナリー レケメルさん/パラオ共和国/各国事情紹介講師

【活動内容】

英語でのパラオ紹介及び参加者との交流

【参加者の感想】

- ・パラオと日本は1920年代からすでに関係があったことなど、全く知らず、勉強になりました。パラオの単語にも日本語由来のものがあると紹介され興味深かったです。
- ・パラオの文化、地理、食べ物などとてもわかりやすく説明をしてくれて、楽しい時間が過ごせました。その中でもお母さんが最初の子供を出産後、子供のお披露目のためにお母さん自身もいろいろと伝統のある衣装や飾り物を付けるという儀式の話がとてもおもしろかったです。
- ・2018年3月まで研修があると聞いたので、彼らにとって実り多いものとなるように願っています。



【担当者の感想】

パラオについてほとんど知らなかったのので、とても勉強になりました。メサフレンドシップでは、外国の方からお国紹介をしてもらうことで、視野を広めて関心を持つという活動を行っていますが、今回は、特に戦前から戦中にかけてのパラオと日本との関係もほとんど知らなかったのので、とても勉強になりました。参加者の感想にもあった通り、もっと歴史を勉強しなければいけないと思いました。

昼食時は3人が勉強中の日本語も一生懸命に使い、それに対して会員もやさしい日本語で対応するなどして楽しく過ごせました。



NPO法人ひと・まちねっとわーく

会 長：滑川 光仁
実施日時：平成29年12月23日（土）～24日（日）
実施場所：茨城県立白浜少年自然の家
対 象：参加者児童205名
講 師：ジョー カビンさん/香港/留学生親善大使
ジドコワ オリガさん/ロシア/留学生親善大使
ノウルズィー タイエバさん/イラン/留学生親善大使
バイラルベコヴァ グルナスさん/カザフスタン/留学生親善大使
ウ セイさん/中国/各国事情紹介講師
アムル オマルさん/エジプト/各国事情紹介講師

【活動内容】

- ・イングリッシュキャンプにおけるバビリオン活動の指導
- ・ピザづくりでの英語を使ったオリエンテーリング指導
- ・クリスマスパーティーの運営
- ・日常生活における子どもたちとのふれあい

【参加者の感想】

ほとんどの児童が参加して楽しかったという感想である。また、積極的に外国の方々に英語を使って話しかけたり、活動を共に楽しむ姿が数多く見受けられた。児童の今回の活動に対する期待も大きく、活動中に手首を骨折した児童さえ最後まで参加した。足をケガした状態で参加した児童は車イス等を利用した参加となったが、児童相互で助け合う微笑ましい光景も見られた。



【担当者の感想】

- ・初めての試みであり、多少の不安もあったが、多くの指導者の協力により、児童たちにとって充実した宿泊学習になった。特に、英語活動の充実の面から、英語指導者とAETの貢献度は大きかった。
- ・今回の評価と反省を生かし、次年度の改善に生かしたい。
- ・AET、英語指導者及び協力者等相互の事前打ち合わせの時間があまり設定できなかったことはぜひ改善していきたい。



ワールドキャラバン活用の バリエーション

ワールドキャラバンには、国際理解を深めるための色々な活用法があります。
イベントや交流会等、目的に合わせた場面でご活用ください！

民族舞踊



(愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校)

留学生シンポジウム



(茨城県高等学校国際教育研究協議会)

各国の文化紹介



(下妻市立豊加美小学校)

各国料理教室



(北茨城ユネスコ協会)

みんなでダンス！



(常総市立五箇小学校)

ワークショップ「貿易ゲーム」等



(茨城県高等学校国際教育研究協議会)

民族楽器演奏



(水戸市立稲荷第二小学校)

青年海外協力隊体験談



(石岡市立北小学校)

民族衣装試着体験



(笠間市立稲田小学校)

* 活用例の詳細につきましては、背表紙（3）ワールドキャラバン活用の例をご覧ください。



平成29年度ワールドキャラバン実施校／団体一覧表



NO	派遣先	開催日
1	日立市立豊浦小学校	平成29年9月11日
2	茨城県立茨城東高等学校 (1/7)	平成29年9月11日
3	ひたちなか市立那珂湊第三小学校	平成29年9月12日
4	茨城県高等学校国際教育研究協議会	平成29年9月12日
5	ひたちなか市立三反田小学校	平成29年9月13日
6	ひたちなか市立平磯小学校	平成29年9月13日
7	茨城県立玉造工業高等学校 (1/2)	平成29年9月14日
8	那珂市立横堀小学校	平成29年9月14日
9	古河市立仁連小学校	平成29年9月20日
10	日立市立坂本中学校	平成29年9月22日
11	茨城県立茨城東高等学校 (2/7)	平成29年9月25日
12	城里町立石塚小学校	平成29年9月26日
13	玉造工業高等学校 (2/2)	平成29年9月27日
14	石岡市立林小学校	平成29年10月6日
15	つくば市立葛城小学校	平成29年10月10日
16	稲敷市立あずま北小学校	平成29年10月10日
17	石岡市立瓦会小学校	平成29年10月12日
18	常総市立大花羽小学校	平成29年10月13日
19	メサフレンドシップ (1/2)	平成29年10月17日
20	日立市立助川小学校	平成29年10月19日
21	日立市立中小路小学校	平成29年10月19日
22	北茨城市立関本小学校	平成29年10月19日
23	那珂市国際交流協会	平成29年10月21日
24	水戸市立浜田小学校(1/3)	平成29年10月24日
25	土浦市立神立小学校	平成29年10月24日
26	常総市立五箇小学校	平成29年10月26日
27	医療法人 篤会	平成29年10月26日
28	日立市立櫛形小学校	平成29年10月27日
29	日立市立山部小学校	平成29年10月28日
30	茨城県立茨城東高等学校 (3/7)	平成29年10月30日
31	水戸市立浜田小学校(2/3)	平成29年10月31日
32	神栖市立大野原西小学校	平成29年11月2日
33	つくばみらい市立福岡小学校	平成29年11月3日
34	水戸市立浜田小学校(3/3)	平成29年11月6日
35	北茨城市立大津小学校	平成29年11月6日
36	茨城県立古河中等教育学校 (1/2)	平成29年11月7日
37	日立市立大沼小学校	平成29年11月9日
38	古河市立釈迦小学校	平成29年11月15日
39	桜川市立岩瀬西中学校	平成29年11月16日
40	つくば市立竹園西小学校(1/2)	平成29年11月16日
41	茨城県立下妻特別支援学校	平成29年11月16日
42	茨城大学教育学部附属特別支援学校	平成29年11月16日
43	龍ヶ崎市立八原小学校	平成29年11月16日

NO	派遣先	開催日
44	愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校 (1/2)	平成29年11月20日
45	北茨城市立磯原中学校	平成29年11月24日
46	水戸市立鯉淵小学校	平成29年11月30日
47	日立市立大みか小学校	平成29年11月30日
48	笠間市立稲田小学校	平成29年11月30日
49	日立市立多賀中学校	平成29年12月1日
50	茨城県立土浦特別支援学校	平成29年12月1日
51	日立市立大久保中学校	平成29年12月6日
52	石岡市立北小学校	平成29年12月6日
53	石岡市立高浜小学校PTA	平成29年12月8日
54	つくば市立竹園西小学校(2/2)	平成29年12月12日
55	茨城県立美浦特別支援学校	平成29年12月14日
56	神栖市立深芝小学校	平成29年12月15日
57	茨城県立伊奈特別支援学校	平成29年12月15日
58	愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校 (2/2)	平成29年12月18日
59	水戸英宏中学校(1/2)	平成29年12月18日
60	茨城県立友部東特別支援学校	平成29年12月19日
61	日立市立大久保小学校	平成29年12月19日
62	NPO法人ひと・まちなっとわーく	平成29年12月23、24日
63	牛久市国際交流協会	平成30年1月9日
64	茨城県立茨城東高等学校 (4/7)	平成30年1月12日
65	水戸市立稲荷第二小学校	平成30年1月18日
66	守谷市立郷州小学校	平成30年1月25日
67	石岡市立北小学校	平成30年1月26日
68	北茨城ユネスコ協会	平成30年1月28日
69	茨城県立茨城東高等学校 (5/7)	平成30年1月29日
70	下妻市立豊加美小学校	平成30年1月30日
71	高萩市立東小学校	平成30年2月2日
72	下妻市立大宝小学校	平成30年2月7日
73	石岡市立高浜小学校	平成30年2月8日
74	日立市立泉丘中学校	平成30年2月8日
75	日立市立坂本小学校	平成30年2月9日
76	水戸英宏中学校(2/2)	平成30年2月9日
77	石岡市立杉並小学校	平成30年2月15日
78	茨城県立茨城東高等学校 (6/7)	平成30年2月19日
79	古河市立古河第六小学校	平成30年2月21日
80	茨城県立那珂湊高等学校	平成30年2月21日
81	茨城県立内原特別支援学校	平成30年2月23日
82	茨城県立茨城東高等学校 (7/7)	平成30年2月26日
83	国際交流ボランティアネットワークさくら	平成30年3月3日
84	ひたちとアジアの文化交流をすすめる会	平成30年3月3日
85	メサフレンドシップ (2/2)	平成30年3月13日

平成30年度ワールドキャラバン実施要領

(詳細は<http://www.ia-ibaraki.or.jp/kokusai/rikai/caravan/index.html> をご覧ください。)

1 派遣内容

- (1) 派遣先：茨城県内の小・中学校、高等学校（中等教育学校を含む）、特別支援学校、生涯学習関連団体
(2) 派遣する人材

A 外国人講師

- ①留学生（（公財）茨城県国際交流協会が任命した茨城県留学生親善大使等、茨城県内の大学や高校に在学する留学生）
②在住外国人（県内に在住する外国人（各国事情紹介講師）や県の国際交流員（CIR）、外国語指導助手（ALT））
③研修員（JICA筑波に研修に来ている途上国からの研修員。）

B 日本人講師

- ①参加型学習を実施するファシリテーター（異文化理解、開発途上国への理解を深めるためのゲーム、ロールプレイなどを実施します）
②県内のNGO等国際交流協力活動実践者
③JICAボランティア及びJICA派遣専門家等

C コーディネーター（日本人）

企画内容について、派遣先の相談に応じ、講師との連絡・調整、当日の進行役をします。

- (3) ワールドキャラバン活用の例

- ①総合的な学習の時間で、世界の遊びや民族衣装、舞踊など披露してもらう。（小中学校）
②道徳や特別活動、社会科等の授業で、青年海外協力隊の現地活動の様子等を紹介してもらう。（小中学校）
③道徳の授業等で、留学生とともに昨今の社会問題について出身国の状況も踏まえながら話しあう。（高校）
④地理歴史・公民等の授業に外国人を講師として招き、出身国・地域の社会情勢や風土について紹介してもらい、理解促進の一助とする。（高校）
⑤世界の料理を紹介してもらい食文化の交流を図る。（生涯学習関連団体）
⑥県内のNGO等国際交流協力活動者を講師として招き、団体の活動内容に関する講演を行ってもらい、国際協力や国際理解・国際貢献の重要性を知る。（生涯学習関連団体）
⑦ファシリテーターの進行により、シミュレーションゲームやロールプレイ、ワークショップを体験する。

2 申し込み手続き

○派遣を希望する学校は、派遣申請書を募集期間内に協議会事務局まで提出してください。

募集期間 平成30年4月1日～平成30年6月30日

事業実施期間 平成30年9月1日～平成31年2月28日

国際理解教育教材「ワールドボックス」貸出しのご案内

県内の国際理解教育推進のための役立つ教材（各国の国旗、民族衣装、工芸品、図書等）を各学校や生涯学習センター、その他国際理解教育を実施する個人・団体に貸出します。

教材の紹介、貸出し方法や申請書のダウンロードは、公益財団法人茨城県国際交流協会のホームページをご覧ください。

<http://www.ia-ibaraki.or.jp/kokusai/rikai/box/index.html>

【お問い合わせ先】

茨城県国際理解教育推進協議会事務局（公益財団法人茨城県国際交流協会内）

〒310-0851 茨城県水戸市千波町後川745 県民文化センター分館2階

TEL：029-241-1611 FAX：029-241-7611 E-mail：iia@ia-ibaraki.or.jp